

■ 開腹後腹膜リンパ節郭清

開腹後腹膜リンパ節郭清術

後腹膜リンパ節腫大を認め、これを放置すると再発の危険があるためリンパ節(腫大リンパ節だけでなく、大血管のまわりのリンパ節も)の摘出を行いません。

- 手術方法:全身麻酔・硬膜外麻酔下にて行い、腹部の正中(真ん中)を縦に切開し、大血管周囲のリンパ節を摘出します。予定手術時間は6～15時間程度で、手術難易度により幅があります。

合併症として

- 出血(輸血にて対応します。時に、術後出血をともなった場合には再手術が必要となる可能性もあります。)
- 感染(術前より予防的抗生剤投与を行います。傷口の離開、肺炎等感染の徴候を認めた場合はより強力な抗生剤の点滴にて治療します。)
- 腸管損傷(軽度の場合、1週間の絶食+高カロリー輸液にて対応します。高度の場合、腸管縫合+人工肛門造設→数ヵ月後に人工肛門閉鎖術ということになります。)
- 血管損傷
- 腸閉塞
- 膀胱損傷(外科との相談で治療致します。)
- リンパ漏(血管周囲のリンパ管切除により術後数日から数週間にわたってリンパ液の漏れが続くことがあります。その場合追加で治療が必要になります。)
- 深部静脈血栓症(術直前～術後歩行開始時までの弾性ストッキング着用+術中の専用の機械によるマッサージにて予防に努めますが、発症した場合は、血栓を溶かすための薬を点滴します。)
- 疼痛(硬膜外麻酔、注射薬、坐薬、経口薬にて対応します。)
- 尿管損傷(尿管ステント留置にて対処します。)
- 射精障害が起こる可能性があります。

* 研究及び、教育目的で手術の過程を録画保存する場合があります。術後、摘出した腫瘍の病理組織検査の結果を踏まえて今後の治療方針を決定します。

一覧 膀胱全摘:男性 膀胱全摘:女性 前立腺全摘 腹腔鏡手術 経尿道的膀胱腫瘍切除
生体腎移植:ドナー 生体腎移植:レシピエント 前立腺小線源療法 開腹腎摘出 開腹後腹膜リンパ節郭清
シャント造設 経尿道的尿管結石 体外衝撃波結石破碎術 小児 検査